

製品名: WHSC2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM83064**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ICC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG2b |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 57.3kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | WHSC2 |
| 別名 | NELFA; NELF-A; P/OKcl.15 |
| 遺伝子 ID | 7469.0 |
| SwissProt ID | Q9H3P2 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト WHSC2 (AA: 280-511) の精製された組み換え断片。 |

背景

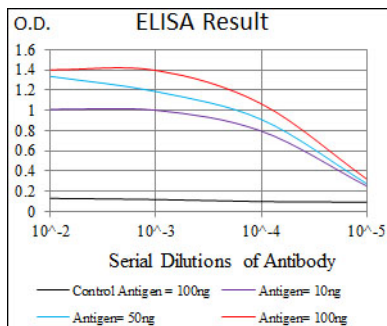
この遺伝子は、成体組織よりも胎児組織で高く、普遍的に発現しています。マウスタンパク質と 93%の配列同一性を持つタンパク質をコードしています。ウルフ・ヒルシュホーン症候群 (WHS) は、4 番染色体遠位短腕のヘミ接合性欠失に関連する奇形症候群で

す。この遺伝子は、165 kb の WHS 重要領域にマッピングされており、WHS またはピット・ロジャース・ダンクス症候群の表現型に役割を果たしている可能性があります。コードされているタンパク質は、HLA-A2 拘束性および腫瘍特異的細胞傷害性 T リンパ球と反応できることがわかっており、多数の癌患者に対する特異的免疫療法での使用のターゲットを示唆しています。このタンパク質は、RNA ポリメラーゼ II 転写伸長の調節に関与する NELF (負の伸長因子) タンパク質複合体のメンバーであることも示されています。

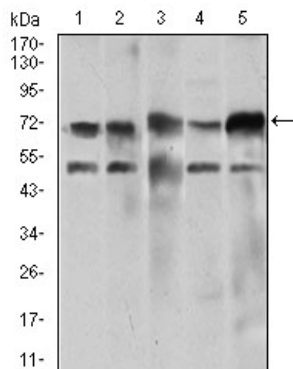
研究分野

-

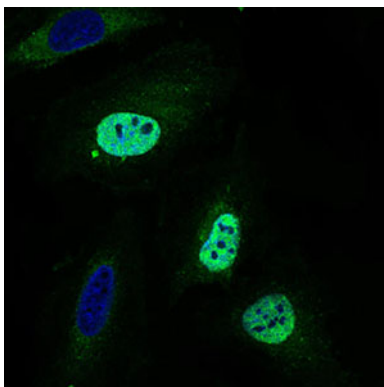
画像データ



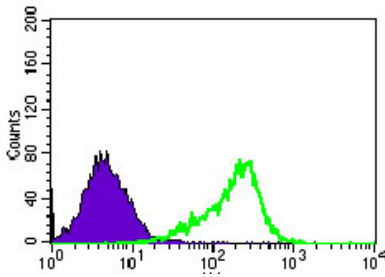
赤:コントロール抗原 (100ng)、紫:抗原 (10ng)、緑:抗原 (50ng)青:抗原 (100ng)



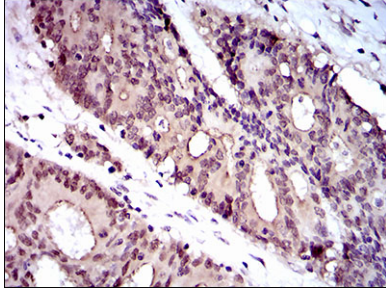
Jurkat(1)、Hela(2)、HEK293(3)、4549(4)および SPC-4-1(5)細胞溶解物に対する HSC2 マウス mAb を用いたウェスタンブロット分析。



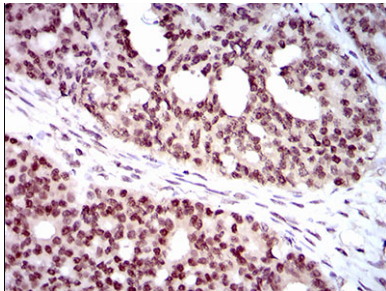
WHSC2 マウス mAb (緑) を用いた Hela 細胞の免疫蛍光染色。青: DRA05 蛍光 DWA 色素。



WHSC2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (紫) を使用した HEK293 細胞のフローサイトメトリー分析。



WHSC2 マウス mAb と DAB 染色を使用した、oaraffn 包埋大腸癌組織の免疫組織化学分析。



WHSC2 マウス mAb と DAB 染色を使用した、小胞体包埋卵巢癌組織の免疫組織化学分析。